

# 神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

## 2016年1月 謹賀新年

### 新年を迎えるにあたって ～生かされていることへの感謝～

あなたがたは、「主の御心であれば、生き永らえて、あのことやこのことをしよう」と言うべきです。(ヤコブ 4:15)

司祭 ミカエル 小南 晃

新年おめでとうございます。

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。1年の計画は元旦の意志や姿勢にかかってくる。また何事も最初が肝心だから気を引き締めて迎えようと言うことでしょう。

新年にあたり、まずはこのこと大切に心に留めたいと思います。

しかし同時に、1年間の計画ということについては、ヤコブの手紙4:13以下に次のような言葉があります。

「よく聞きなさい。『今日か明日、これこれの町へ行って一年間滞在し、商売をして金もうけをしよう』と言う人たち、あなたがたには自分の命がどうなるか、明日のことは分からないのです。あなたがたは、わずかの間現れて、やがて消えて行く霧にすぎません。むしろ、あなたがたは、『主の御心であれば、生き永らえて、あのことやこのことをしよう』と言うべきです。(ヤコブ4:13-15)」

「来年のことを言うと鬼が笑う」にも似ていますが、新年早々に「あなたがたには自分の命がどうなるか、明日のことは分からないのです」という言葉は縁起でも

ないと思われるかも知れません。

しかしこの聖句が教えようとしているのは「私たちは神に生かされているからこそ今日がある」という感謝と謙遜さであり、その心を忘れてしまうことの危険、そこに潜む傲慢の罪を警告しているものです。

#### ありがとうの反対語は？

最近、インターネットで見かけた言葉でなる程と思った言葉があります。それは「ありがとう」という言葉の反対語は何か？というものです。ありがとう「サンキュー」の反対だから「ノー・サンキュー」と思ったわけですが、そうではありませんでした。

ありがとうの語源は「有り難し」、即ち有る事が難しい、とても貴重だということです。そこには貴重な物、或いは事柄を与えられての感謝が込められています。

だとすればその逆は何かというと、与えられても当然だとしか思わないこと、即ち「当たり前」に思うことです。だから「ありがとう」との反対語は「当たり前」だということでした。

「右足を出して、左足を出す

と・・・歩ける。当たり前体操」というお笑い芸がありましたが、病気の後遺症などで足が動かなくなっていた人が、辛いリハビリを頑張って、ようやく右足、左足を動かせ、一步を踏み出せた時、決して当たり前ではなく、心から喜びと感謝の念を抱くでしょう。

#### 生かされていることへの感謝

ご高齢の方が、しばしば「今年も正月を迎えることが出来て有り難いことです」という感謝の言葉を語られます。それを聞くと「縁起でもない。今年と言わず、来年も再来年も元気に正月を迎えて下さい」と励ましのつもりでつい言いたくなります。

しかしそうではなく、「今年も正月を迎えることができて感謝です」という言葉は、むしろ一日一日を大切に日々を送られている証しだということでしょう。

自分自身を振り返ってみた時、正月を迎えることは「当たり前」、毎朝、目が醒めることも「当たり前」に思っていることに気付かれます。しかし高齢であろうが、若かりうが「神さまに生かされているからこそ今日がある」という感謝は、人は皆、忘れるべきでなく、またそれが日々の喜びと平安をより確かに、また深くしていくということではないでしょうか。

新年を迎えて、「神に生かされている私」ということを改めて感謝と共に覚えたいと思います。

#### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
" 9時15分 教会学校  
" 10時30分 聖餐式・説教  
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
土 午前10時30分 教会掃除  
(ご奉仕をお願いします)